

## 第6章 取組の推進にあたって

---

この章では取組の推進にあたっての考え方を示します。

## 6-1. 市民・企業・行政などの協働

はぐくみの軸の将来像を実現していくためには、まちづくりにかかわる市民、企業、行政などが本方針を共有し、協働して取組を進めていくことが重要です。

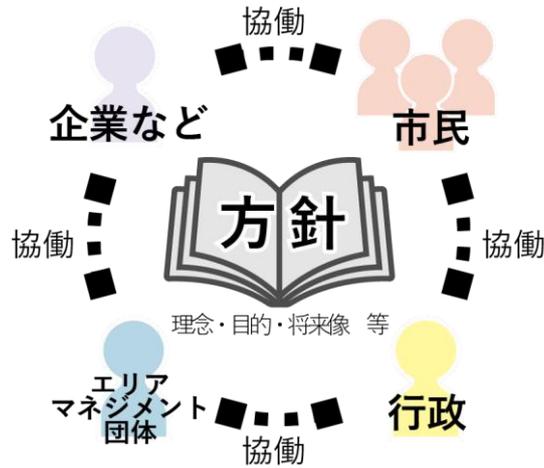
本方針に沿った取組の推進にあたっては、それぞれ以下のような役割を担って取り組んでいきます。

### 企業などに期待される役割

- 本方針に沿って建物の建替を計画する
- 本方針に沿って既存建物の改修を行う
- 本方針に沿って都市空間の活用を行う
- 将来像実現に向けた活動や議論に主体的に参加する

### 市民に期待される役割

- はぐくみの軸に愛着を持つ
- はぐくみの軸の魅力を国内外に発信する
- 将来像実現に向けた活動や議論に主体的に参加する



### エリアマネジメント団体に期待される役割

- 地域の価値を維持・向上させるため、市民・地権者等による主体的な取組を推進する
- まちづくりの担い手を育成する

### 行政の役割

- 市民・企業などに対し本方針の積極的な周知啓発を行う
- 札幌市の行政計画への本方針の考え方の反映や、本方針に基づく事業構築・制度の見直しなど、率先して将来像実現に向けた取組を推進する
- 市民、企業などの活動や相互の連携を支援・調整する

## 6-2. 段階的・総合的な取組の展開

将来像の実現に向けては、はぐくみの軸上で、次々と新しい地域主体の取組が生まれ、継続していくことが重要です。

そのため、札幌市は、本方針の積極的な周知啓発を図り、はぐくみの軸におけるまちづくりの気運醸成を図るほか、まちづくり勉強会などの地域主体の取組に初期段階から参加し、本方針に沿ったまちづくりを協働して進めていきます。

また、その過程では、必要に応じて、官民協働で公共的空間を活用した実証実験などを実施し、課題や効果などを慎重に検証しながら、段階的に検討を深めていきます。

そして、地区計画をはじめとした都市計画制度の活用を図るなど、まちづくりの気運醸成から取組の具体化まで、取組の進捗状況を適切に把握・共有しながら、段階的かつ総合的に、地域主体の取組の展開を進めていきます。

さらに、本方針の将来像の実現を図っていくためには、道路・交通・景観・環境・防災など関連する施策に総合的に取り組んでいく必要がありますが、特にはぐくみの軸は大通公園という札幌都心を象徴する広大なみどりの空間を有していることから、大通及びその周辺のみどりとみどりづくりを一体的に推進していきます。